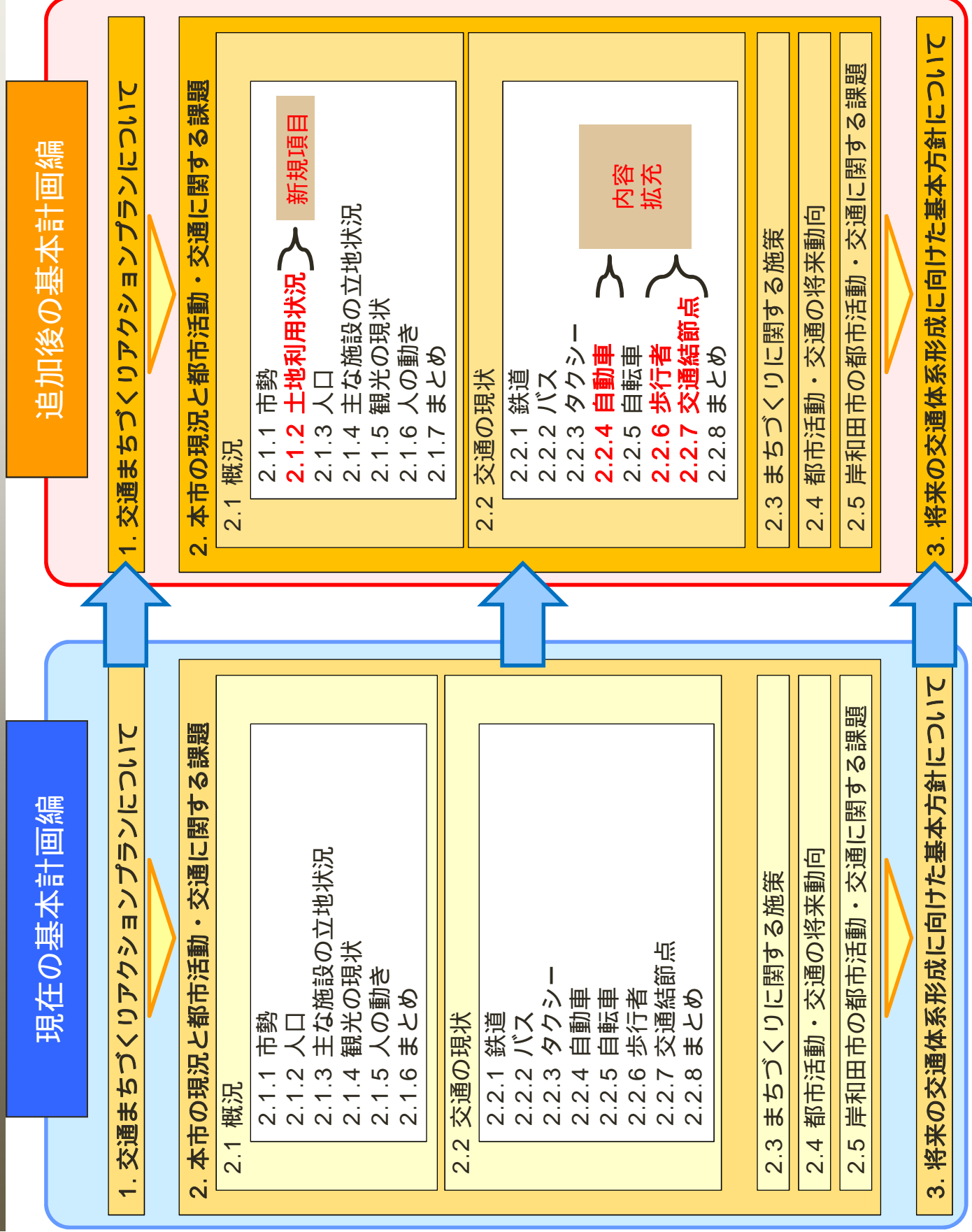


岸和田市交通まちづくりアクションプラン 〔基本計画編〕について

1. 基本計画編における計画の構成



1. 基本計画編における計画の構成

現在の基本計画編

追加後の基本計画編

記載なし

2.2.4 自動車

(1) 道路ネットワークの状況

道路ネットワークの状況と緊急交通路の指定路線について、文章のみ記述

(2) 都市計画道路の整備状況

平成27年度末時点における整備状況を整理

(3) 事故発生状況

岸和田市及び大阪府の交通事故による死傷者数の推移塔を整理

2.1.2 土地利用状況

(1) 土地利用状況

岸和田市における土地利用状況を整理

(2) 開発事業

岸和田市における市街地開発事業、土地区画整理事業及び住宅開発事業を整理

2.2.4 自動車

(1) 道路ネットワークの状況

道路ネットワークの図面を追加

(2) 車線数の状況

市内幹線道路の車線数を整理

(3) 交通量（平日24時間交通量）

市内幹線道路の平日24時間交通量を整理

(4) 主要渋滞箇所

市内の主要渋滞箇所等の指定状況を整理

(5) 都市計画道路の整備状況

平成27年度末時点における整備状況を整理

(6) 自動車保有台数の推移

自動車登録台数及び1世帯あたり自動車保有台数の推移を整理

(7) 事故発生状況

岸和田市及び大阪府の交通事故による死傷者数の推移等を整理

2.2.5 緊急交通路

広域緊急交通路及び地域緊急路の指定状況を整理

1. 基本計画編における計画の構成

現在の基本計画編

追加後の基本計画編

2.2.6 歩行者

歩道設置延長の推移及び人口1万人あたりの死傷事故発生状況を整理

2.2.6 歩行者

見出しの番号のみ変更

2.2.7 交通結節点

本市で都市計画決定している駅前交通広場の整備状況のみ整理

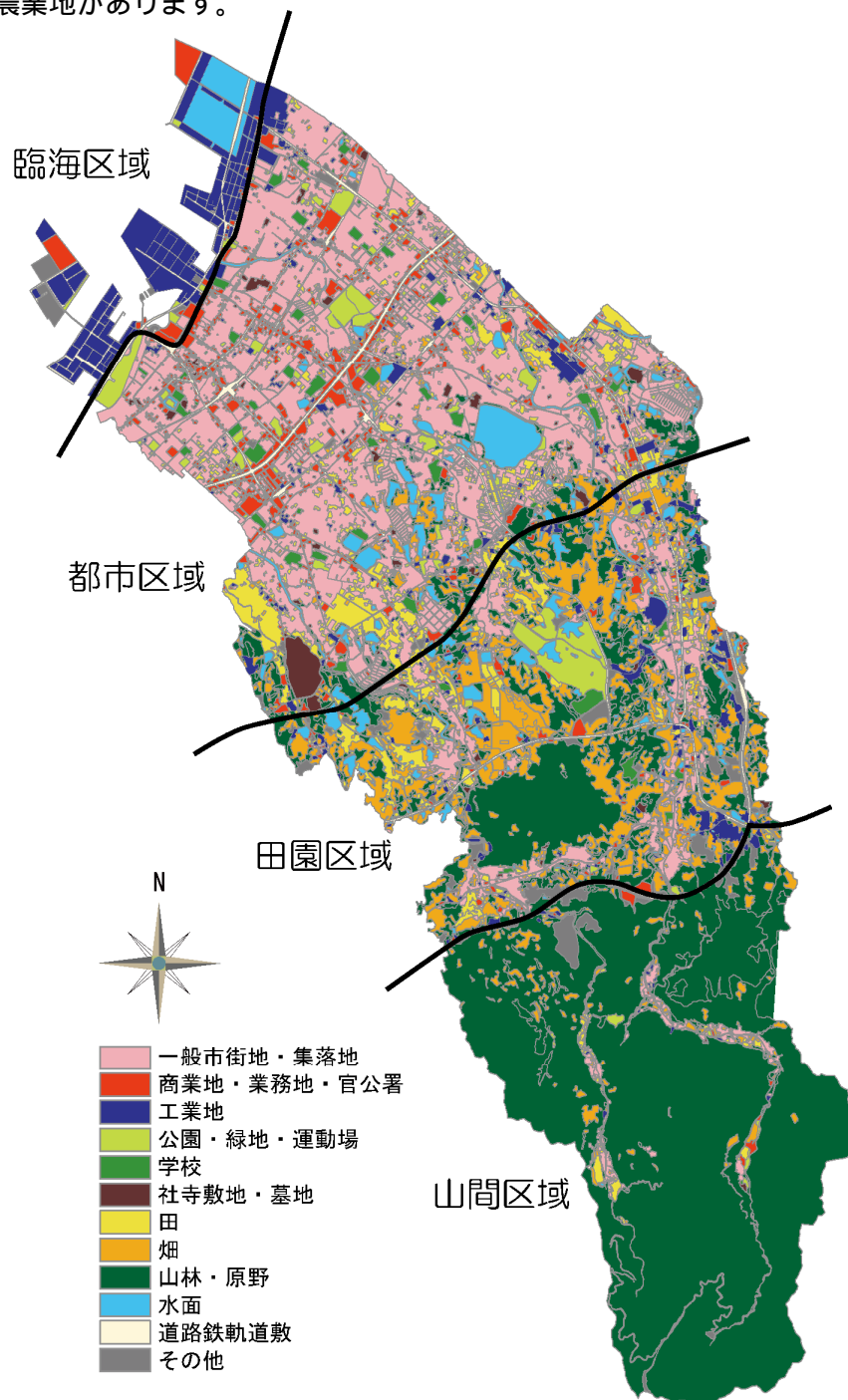
2.2.7 交通結節点

本市で都市計画決定している駅前交通広場の整備状況をはじめ、鉄道の乗車人員、駅舎構造、バス・タクシーのバース及びブール、駐輪場等の整備状況も整理

2.1.2 土地利用状況

(1) 土地利用状況

本市は、大阪湾と和泉山脈に挟まれ、海から山に細長い地形で、おおむね臨海区域・都市区域・田園区域・山間区域に区分されます。臨海区域は、木材コンビナートや鉄工団地があり主に工業地となっています。都市区域は、住宅と商業・工業などの混在地域であり、主に一般市街地が広がっており、鉄道駅周辺や幹線道路沿いに商業地・業務地が集積しています。田園区域は、一般市街地と田や畑の農業地が広がり、山間区域では、主に山林や原野が広がり、津田川沿いや牛滝川沿いに集落地や農業地があります。



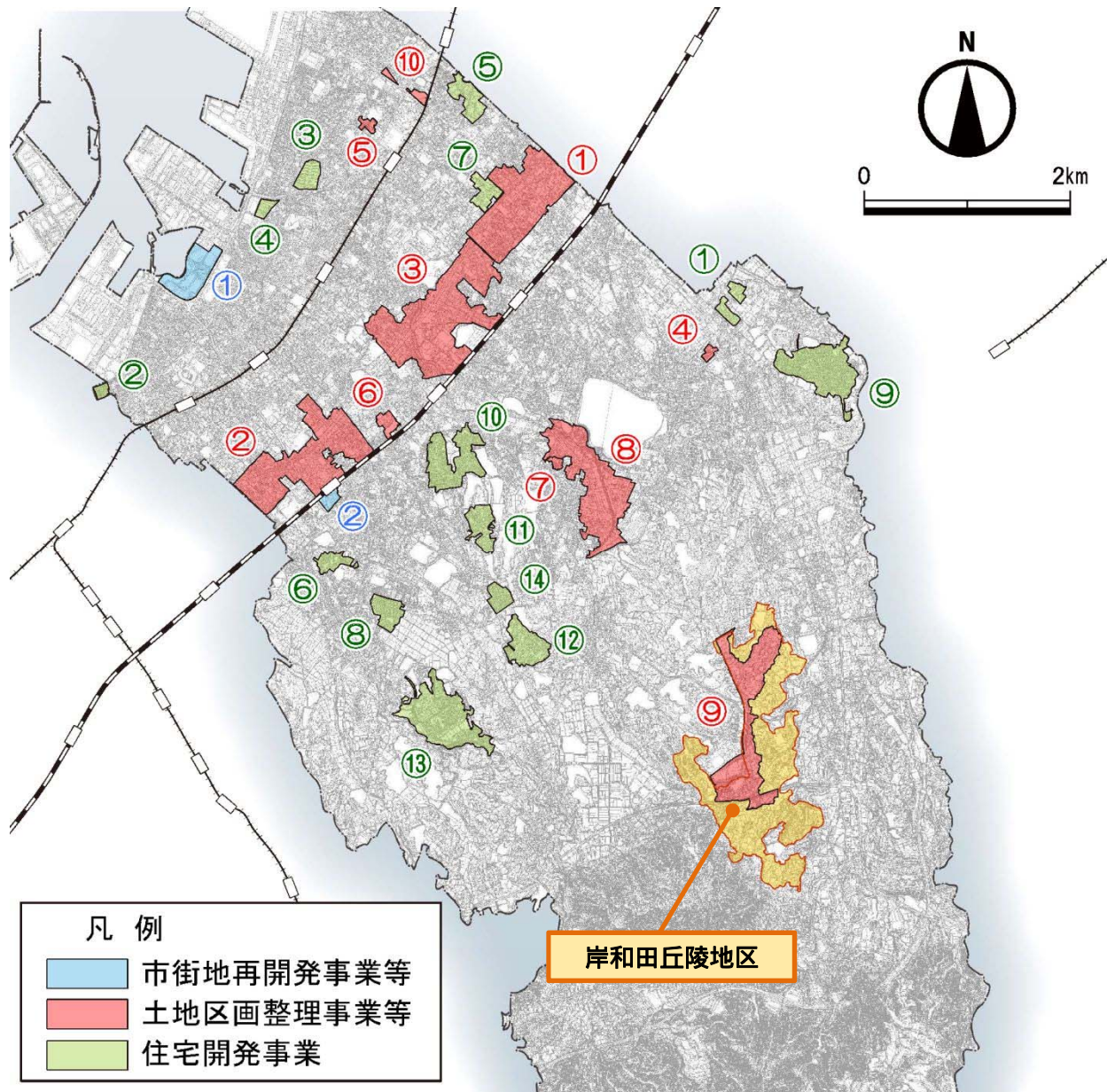
資料：土地利用現況調査（平成 27 年 2 月 岸和田市）

図 2-2 岸和田市の土地利用状況（平成 27 年 2 月時点）

(2) 開発事業の状況

本市は、これまでに市街地再開発事業、土地区画整理事業及び住宅開発事業によるまちづくりを実施しています。現在、岸和田市丘陵地区の都市整備エリアで丘陵土地区画整理事業、磯上町で磯上競輪駐車場土地区画整理事業を実施しています。

また、春木駅周辺を対象とした「春木駅周辺まちづくり基本構想」、久米田駅周辺を対象とした「久米田駅周辺まちづくり基本構想」、都市計画道路泉州山手線沿線を対象とした「泉州山手線沿道のまちづくりの方針」を策定しており、各地域のまちづくりの方向性等を示しています。



資料：岸和田市資料

図 2-3 岸和田市の市街地再開発事業、土地区画整理事業及び住宅開発事業の状況

表 2-1 岸和田市の市街地再開発事業

事業名称	事業期間	指定面積 (ha)
岸和田旧港地区	S62	約19.5
東岸和田駅東地区	H18～	約2.9

資料：岸和田市資料

表 2-2 岸和田市の土地区画整理事業

事業名称	事業期間	指定面積 (ha)	施行区分
第二阪和国道八木土地区画整理事業区域	S41～S64	約54.3	行政庁施行
第二阪和国道南部土地区画整理事業	S48～H10	約57.7	行政庁施行
第二阪和国道中央土地区画整理事業区域	S52～H24	約76.8	行政庁施行
田治米地区	H8～H11	約1.3	組合施行
八幡地区	H9～H12	約1.7	組合施行
下松地区	H21～H23	約3.3	組合施行
尾生町土地区画整理事業	S59～S62	約1.3	組合施行
尾生・久米田土地区画整理事業区域	H7～H27	約48.5	組合施行・特定
丘陵土地区画整理事業	H26～H33(予定)	約44.0	組合施行
磯上競輪駐車場土地区画整理事業	H27～H30(予定)	約1.9	組合施行

資料：岸和田市資料

表 2-3 岸和田市の住宅開発事業

事業名称	事業期間	指定面積 (ha)	開発主体
田治米	S45～S46	約5.9	大阪府
南町・津田北地区	H10	約1.7	民間
春木	S43	約8.0	住都公団
下野町	S57	約6.8	民間
吉井	S33	約8.0	大阪府
土生町	S49	約5.1	民間
荒木	S35	約5.5	大阪府
行遭町	H11	約7.3	民間
東ヶ丘町・摩湯町・三田町	S44～	約30.1	民間
上松台	S41	約16.6	大阪府
上松町	S48	約10.1	民間
葛城町・土生町・畑町	S42	約12.1	民間
天神山	S49	約34.3	大阪府・大阪府住宅供給公社
門前町	H16～H17	約4.6	民間

資料：岸和田市資料

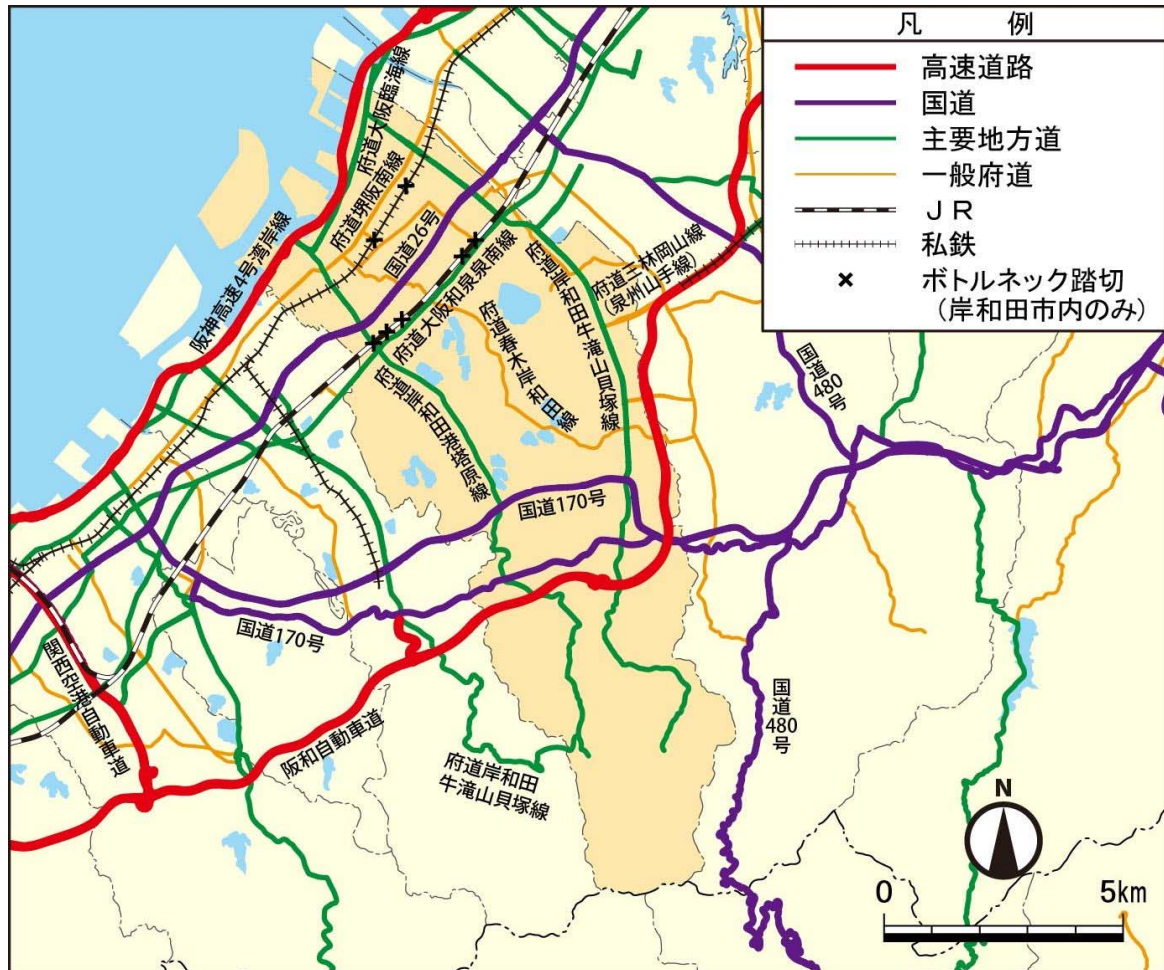
2.2.4 自動車

(1) 道路ネットワークの状況

市域北部を横断する阪神高速4号湾岸線、府道大阪臨海線、国道26号や市域東部を横断する阪和自動車道や国道170号は、大阪市と関西国際空港・和歌山方面を結ぶ広域幹線道路となっています。

また、府道岸和田港塔原線や府道岸和田牛滝山貝塚線は、市内を東西に縦断する地域内のネットワークを支えています。

—国道26号と府道大阪和泉泉南線は、大阪府が定める広域緊急交通路^{*}の「重点14路線」に選定されています。



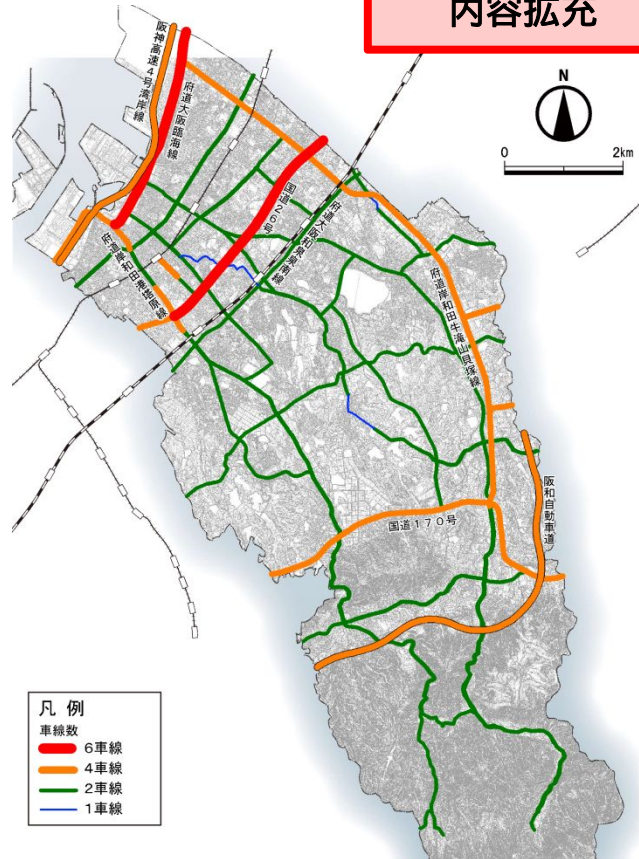
資料：道路交通センサス(平成22年)

図 2-34 岸和田市及び周辺地域の道路ネットワークの状況

図面追加

(2) 車線数の状況

大阪市方面と関西国際空港方面を結ぶ府道大阪臨海線や大阪市方面と和歌山方面を結ぶ国道26号は、6車線となっています。また、岸和田市を横断する阪神高速4号湾岸線や阪和自動車道、外環状線(国道170号)及び岸和田市を縦断する府道岸和田牛滝山貝塚線では、4車線となっています。



資料：岸和田市資料

図 2-35 岸和田市及び周辺地域の車線数の状況

(3) 交通量（平日24時間交通量）

阪神高速4号湾岸線、府道大阪臨海線及び国道26号は、40,000台/日以上交通量があり、岸和田市域内で交通量が多い路線です。また、府道岸和田牛滝山貝塚線及び阪和自動車道は、20,000台～40,000台/日です。



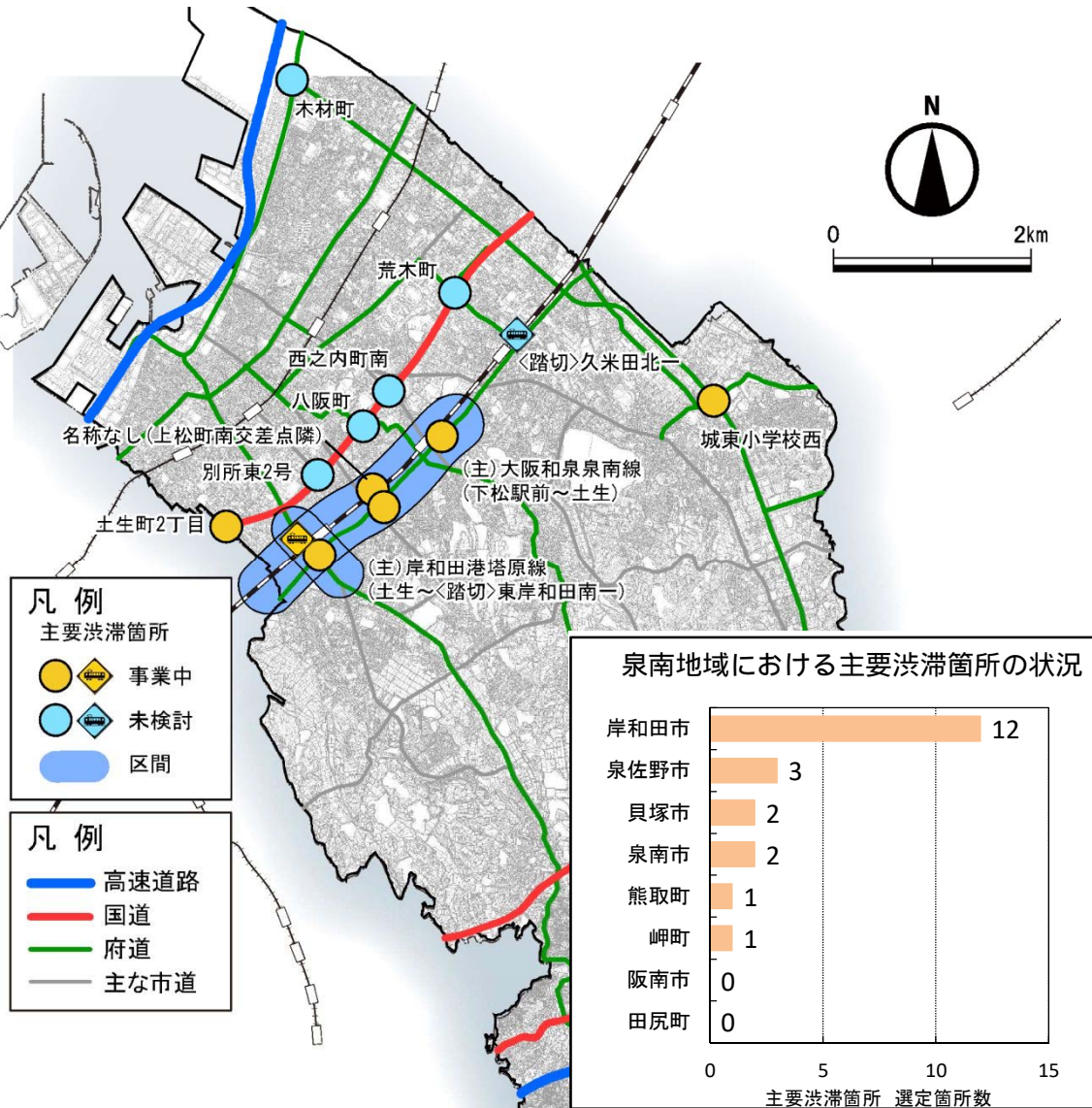
資料：道路交通センサス(平成22年)

図 2-36 岸和田市及び周辺地域の車線数の状況

(4) 主要渋滞箇所

国道 26 号や大阪臨海線、岸和田牛滝山貝塚線では、幹線道路との交差点で渋滞が発生しています。また、大阪和泉泉南線では、幹線道路との交差点部に右折レーンが未整備で、併走する JR 阪和線の踏切の影響もあり慢性的な交通渋滞が発生しています。現在府道岸和田港塔原線と市道並松上松線では踏切除却のため立体交差化事業を進めています。

泉南地域における主要渋滞箇所の選定箇所は、岸和田市が最も多い状況です。

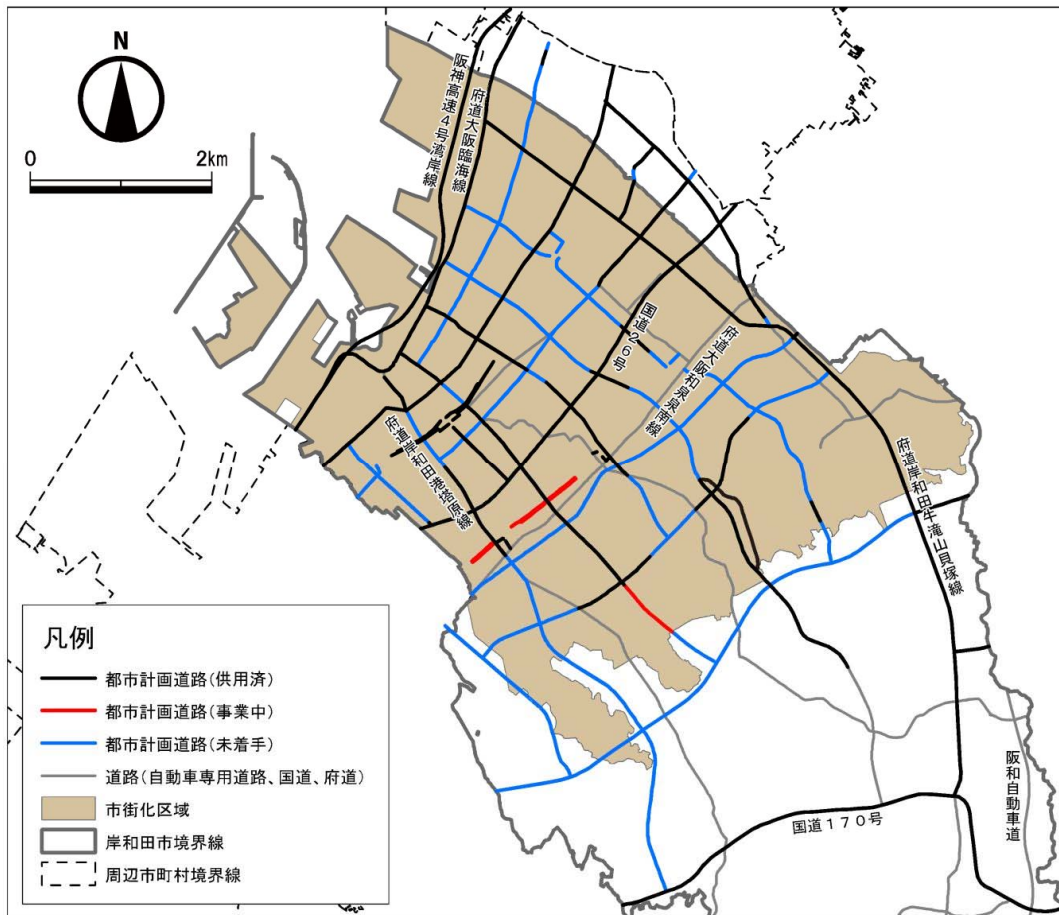


資料：「地域の主要渋滞箇所」選定結果（平成 25 年 2 月公表 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会）

図 2-37 岸和田市内の主要渋滞箇所指定状況及び泉南地域における主要渋滞箇所の状況

(5) 都市計画道路*の整備状況

都市計画道路の整備状況を見ると、都市計画道路の計画総延長 98,740m に対して、整備済み総延長は 53,400m(整備率：54.1%)です。現在整備中の総延長が 5,254m であり、整備後は 61.4%となります。

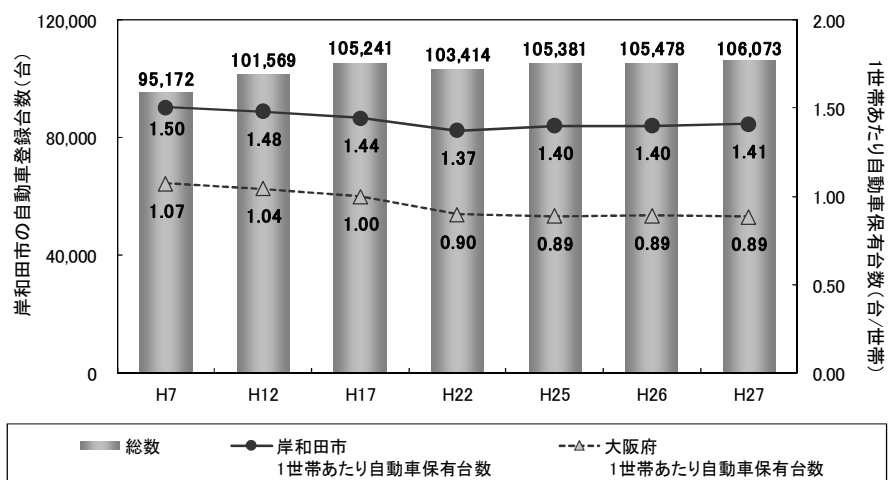


資料：岸和田市

図 2-38 都市計画道路の整備状況(平成 27 年度末)

(6) 自動車保有台数の推移

岸和田市の自動車登録台数は、近年横ばい傾向にあり、平成 27 年時点で約 10.6 万台です。また、1 世帯あたりの自動車保有台数は、大阪府の 1 世帯あたり自動車保有台数を上回っています。



資料：大阪府統計年鑑（平成 8 年度～平成 28 年度）

図 2-39 自動車登録台数及び 1 世帯あたり自動車保有台数の推移

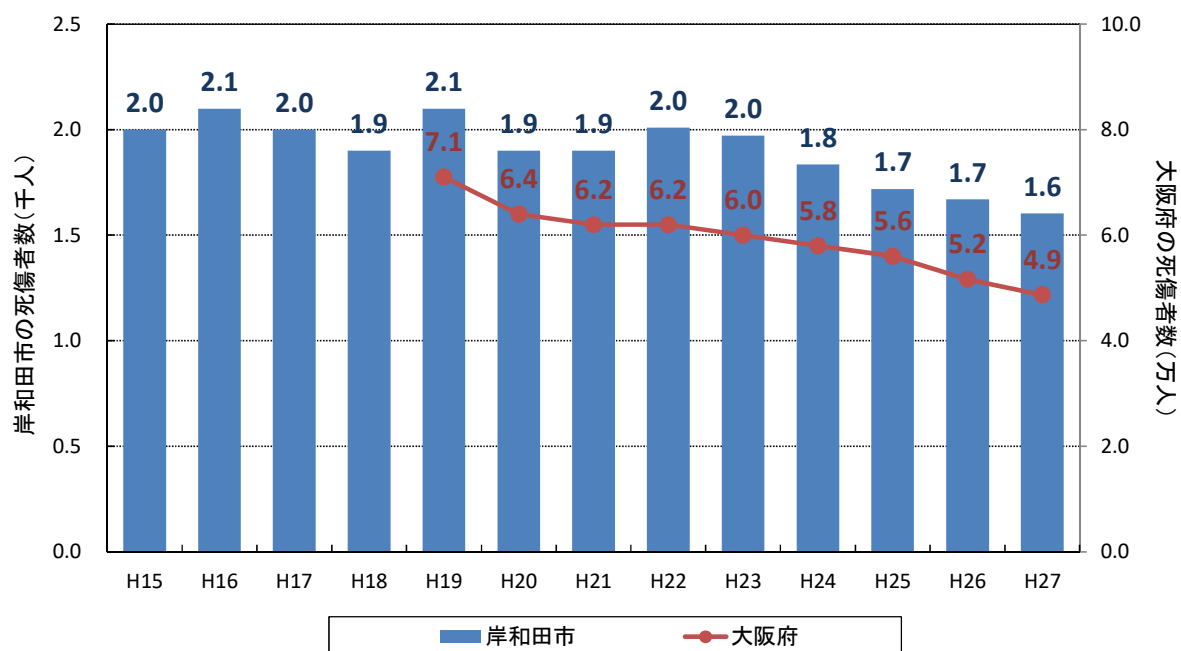
内容拡充

(7) 事故発生状況

岸和田市内における交通事故による死傷者数は、微減傾向にあります。平成 27 年には年間約 1.6 千人の死傷者が発生しています。

大阪府内における交通事故による死傷者数も減少傾向にあり、平成 19 年に比べて平成 27 年では約 3 割減少している一方、岸和田市においては約 2 割の減少にとどまっています。

しかし物損事故も含めた交通事故の年間発生件数は、平成 21 年に比べて平成 25 年では約 2 割増加しています。



資料：岸和田の交通事故のあらまし

図 2-40 岸和田市及び大阪府の交通事故による死傷者数の推移

基本目標 1-3：暮らしの安全性・快適性を高める

指標名	第 1 期戦略計画		第 2 期戦略計画	
	現状値	目指そう値	現状値	目指そう値
交通事故(人身事故 + 物損事故)の年間発生件数	5,033 件 (H21)	4,900 件 (H26)	5,843 件 (H25)	5,800 件 (H29)
安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	17.9% (H22)	20.2% (H26)	18.2% (H26)	21.0% (H30)

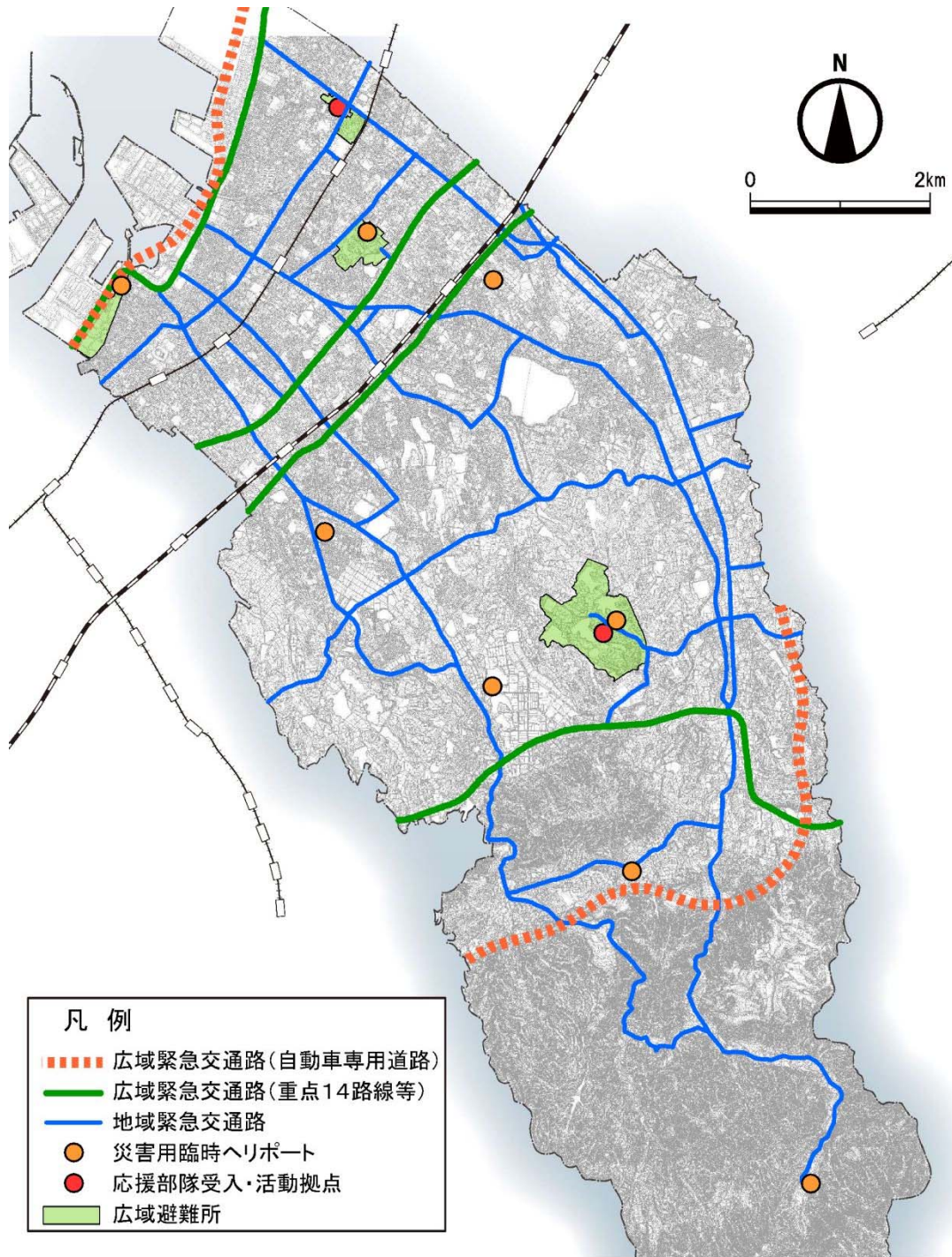
資料：岸和田市まちづくりビジョン 第 1 期戦略計画(H23 年 3 月)
岸和田市まちづくりビジョン 第 2 期戦略計画(H27 年 3 月)

図 2-41 岸和田市まちづくりビジョンによる岸和田市における交通安全に係る基本目標

2.2.5 緊急交通路

国道 26 号と府道大阪和泉泉南線は、大阪府が定める広域緊急交通路の「重点 14 路線」に選定されており、国道 170 号、府道大阪臨海線、府道岸和田牛滝山貝塚線、府道三林岡山線（泉州山手線）、府道春木岸和田線、府道岸和田港塔原線の一部区間は、大阪府が定める広域緊急交通路に指定されています。

府が選定する広域緊急交通路と阪南港、災害時用臨時ヘリポート、市町村災害医療センター、広域避難所をはじめとする防災施設と連絡する地域緊急交通路は、市内幹線道路等を対象に指定されています。



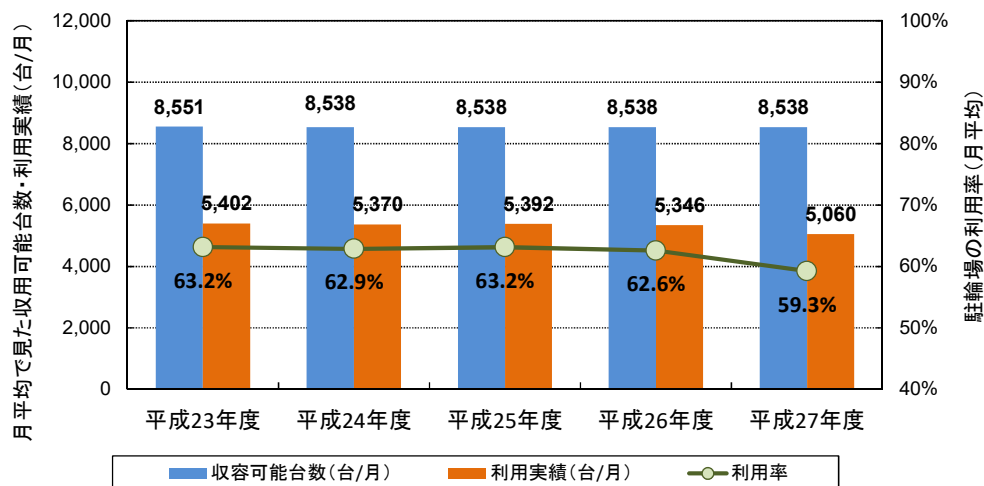
資料：岸和田市地域防災計画 資料編(平成 29 年 4 月修正 岸和田市防災会議)

図 2-42 岸和田市内における緊急交通路の指定状況

2.2.6 自転車

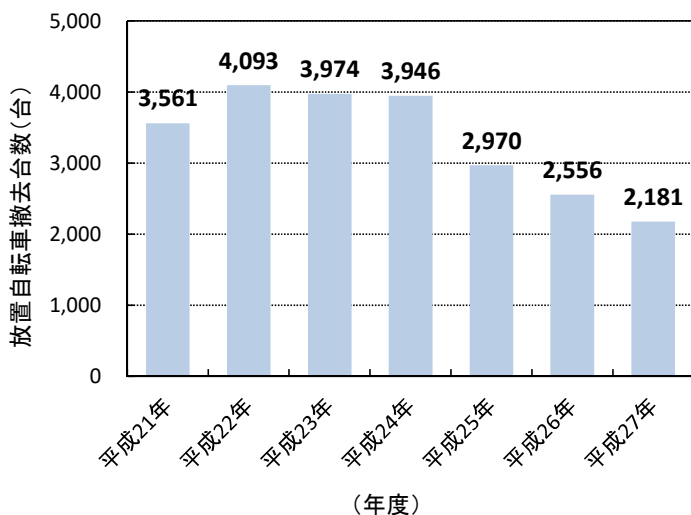
本市の鉄道駅周辺に設置されている市営自転車駐車場の利用率は、平成 27 年度で約 59%であり、平成 26 年度から約 3%減少しています。また、市内鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域*内での放置自転車台数は、平成 27 年で平成 22 年の約 53%と大幅に削減され、減少傾向にあります。

一方、泉南地域 8 市町における自転車による人口 1 万人当たりの死傷事故発生状況を見ると、本市は最も多い状況です。



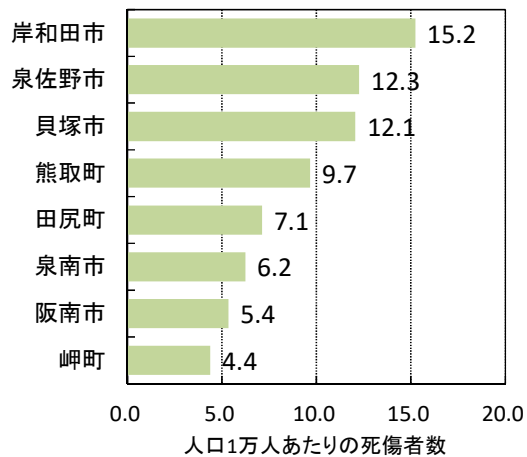
資料：岸和田市資料

図 2-43 市営自転車駐車場の利用状況の推移



資料：岸和田市資料

図 2-44 放置自転車撤去台数の推移



資料：大阪の交通白書（平成 27 年度版 一般財団法人大阪府交通安全協会）

図 2-45 自転車による人口 1 万人当たりの死傷事故発生状況（平成 27 年）

2.2.7 歩行者

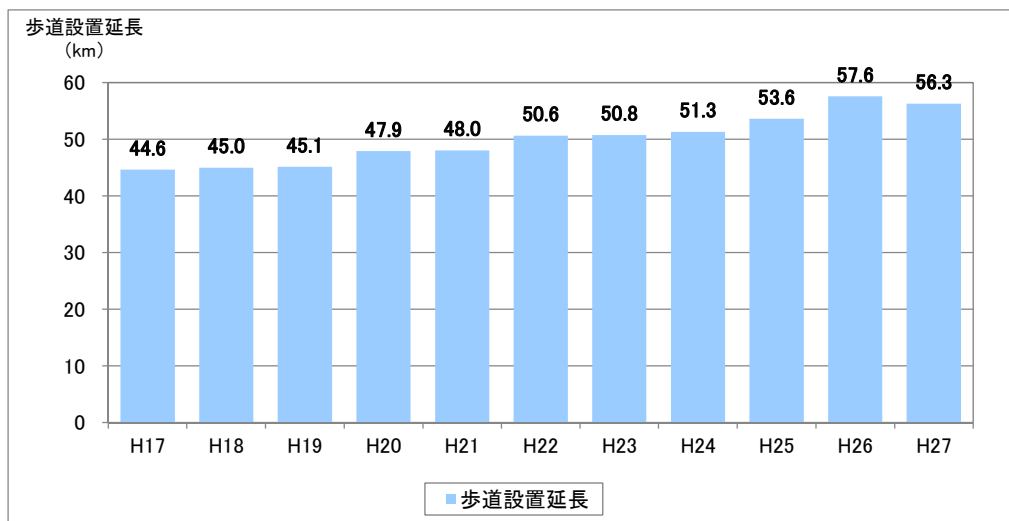
本市では、歩行者空間の整備として、歩道設置による安全・快適性の向上や鉄道駅等のエレベーターやエスカレーターの設置などによる移動円滑化*に取り組んでいます。

市内の幹線道路では、歩道未整備区間や道路幅員が狭小な区間が多く存在しているため、歩道設置の整備を進めており、歩道設置延長は平成 27 年で約 56.3km です。

内容拡充

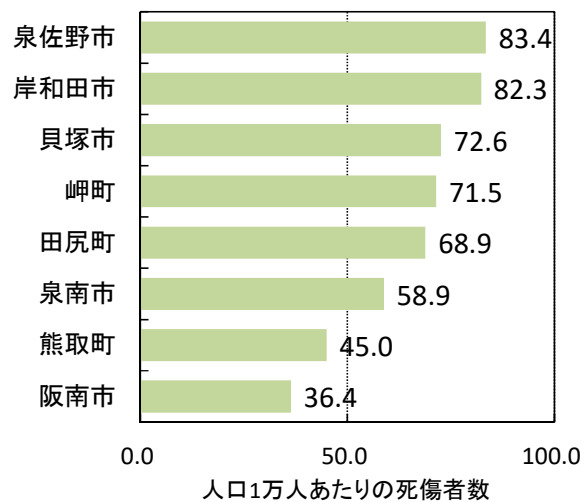
市内には小学校 24 校、中学校 11 校があり、市内の通学路は 131.9km となっています。

泉南地域 8 市町における人口 1 万人当たりの死傷事故発生状況を見ると、本市は 2 番目に多い状況にあります。



各年 4 月 1 日現在
資料：岸和田市

図 2-46 歩道設置延長の推移



資料：大阪の交通白書（平成 27 年度版 一般財団法人大阪府交通安全協会）

図 2-47 人口 1 万人当たりの死傷事故発生状況（平成 27 年）

2.2.8 交通結節点*

交通結節点としての主要な施設である市内の都市計画決定している駅前交通広場の整備状況を見ると、南海岸和田駅、JR東岸和田駅、JR下松駅では、駅前交通広場が整備されていますが、他の鉄道駅では整備されていない状況にあります。

南海岸和田駅



内容拡充

表 2-4 市内鉄道駅における交通結節点の整備状況

駅名	乗車人員 人/日	駅舎 構造	交通結節機能							広場外		
			都市計画駅前交通広場		バス		タクシー		その他	市営駐 輪場	その他	
			西側	東側	バス	プール	バス	プール				
南海	春木	7,558	地上	暫定	未整備	×	×	×	×	一般車 バス	整備済	
	和泉大宮	2,224	地上	暫定	未整備	○	×	○	○		設置済	バス停
	岸和田	12,274	高架	暫定	整備済	○	×	○	○		整備済	バス車庫
	蛸地蔵	2,351	地上	△	未整備	×	×	×	×		設置済	
JR	久米田	6,899	地上	未整備	暫定	×	×	○	○		設置済	バス停
	下松	3,702	橋上	整備済	整備済	○	×	○	○		設置済	
	東岸和田	10,863	高架	△	暫定	○	×	○	○	一般車 バス	暫定	バス停

乗車人員は平成 26 年実績（岸和田市資料による）

駅施設の状況は、岸和田市資料による

市営駐輪場については「整備済」は用地も取得済み、「設置済」は借地にて施設を設置済、「暫定」は借地にて仮施設を設置済

【整備前】



【整備後（暫定）】



資料：岸和田市資料

図 2-48 JR東岸和田駅 駅前交通広場整備状況